



2020年7月1日

各 位

会社名 日本ガス株式会社
(登記上の商号 日本瓦斯株式会社)
代表者名 代表取締役社長執行役員 和田 眞治
コード番号 8174(東証第一部)
問合せ先 代表取締役専務執行役員 営業本部長
渡辺 大乗 (TEL. 03-5308-2119)

完全子会社間の合併に関するお知らせ ～導管・小売分離への第一ステップ～

当社は、2020年7月1日開催の取締役会において、当社完全子会社である東彩ガス株式会社(以下「東彩ガス」と)と新日本瓦斯株式会社(以下「新日本ガス」)の合併を決議しましたので、お知らせいたします。本合併は当社の完全子会社間の合併であるため、開示内容を一部省略して記載しております。

記

1. 合併の目的

当社グループは総合エネルギー企業として、当社及び当社の完全子会社4社(東彩ガス、新日本ガスを含む)を中心に、LPガス・都市ガス・電気等のエネルギーを約170万件のお客様(2020年6月末時点)に提供しております。当社はこれまでICTを活用し、デジタルトランスフォーメーション(以下「DX」)を推進することで、高質かつ効率的なオペレーションを実現するとともに、ガスメーターをオンライン化する「スペース蛍」、ネット申込みやスマホアプリ「マイニチガス」による新しいお客様とのコミュニケーションの在り方の実現等、地域社会へのより良いサービスの提供に注力してまいりました。

2022年4月から大手都市ガス事業者には、導管事業と小売事業の法的分離が予定されております。当社グループは法的分離の適用対象外ではありますが、DXの活用による各社データの効率的な統合により、2022年4月のタイミングに先駆けて導管事業と小売事業を分離し、当社グループにおけるオペレーションの更なる合理化を図ることで、お客様へのサービスの向上に努めてまいります。

当社グループは、当社および当社子会社4社(計5社)の導管部門と小売部門をそれぞれ統合し、2つの新たな組織として事業を再編することを目指しております。本合併による東彩ガスと新日本ガスのエネルギー事業の統合は、これらの取組みを加速するための当社グループ再編に向けた取組みの第一歩です。

また当社は、LPガス事業も同様に託送(充填・配送・検針等)機能と小売機能を分離させてまいります。ハブ充填基地「夢の絆」を起点とした高効率な充填・配送・「スペース蛍」によるガスメーターのオンライン化・それらデータの一元管理の仕組みを「LPG託送事業」として定義し、プラットフォームとして多くの事業者で共同利用することで価値を創造し、新たな地域社会への貢献を実現してまいります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併承認取締役会(東彩ガス・新日本ガス)	2020年7月1日
合併契約締結	2020年7月1日
合併効力発生日	2020年10月1日(予定)

(2) 合併方式

東彩ガスを存続会社、新日本ガスを消滅会社とする吸収合併方式です。

(3) 合併に係る割当の内容

本合併は当社の完全子会社間の合併であるため本合併による新株発行及び金銭等交付はありません。

(4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要(2020年3月31日現在)

	東彩ガス (存続会社)	新日本ガス (消滅会社)
(1) 商号	東彩ガス株式会社	新日本瓦斯株式会社
(2) 本店所在地	埼玉県越谷市越ヶ谷1-14-1	埼玉県北本市古市場1-5
(3) 代表者	土屋 友紀	渡辺 大乘
(4) 事業内容	都市ガス事業、LPガス事業、 電力小売事業等	都市ガス事業、電力小売事業 等
(5) 資本金	450百万円	400百万円
(6) 設立年月日	1960年6月10日	1966年6月13日
(7) 決算期	3月31日	3月31日
(8) 株主及び持株比率	日本瓦斯株式会社 100%	日本瓦斯株式会社 100%
(9) 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	2020年3月期	2020年3月期
純資産	24,714百万円	9,128百万円
総資産	28,791百万円	11,190百万円
1株当たり純資産	11,559.31円	1,214.62円
売上高	25,147百万円	9,564百万円
営業利益	2,187百万円	886百万円
経常利益	2,275百万円	919百万円
当期純利益	935百万円	411百万円
1株当たり当期純利益	437.33円	54.74円

4. 合併後の状況

本合併後、東彩ガスの商号、所在地、代表者、事業内容、資本金及び決算期に変更はありません。

5. 今後の見通し

本合併は当社の完全子会社間の合併であるため当社および連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上